

富山市の平地積雪断面測定資料報告 1992-1993年冬

著者	石坂 雅昭
雑誌名	富山市科学文化センター研究報告
号	17
ページ	121-122
発行年	1994-03-25
URL	http://repo.tsm.toyama.toyama.jp/?action=repository_uri&item_id=634

短 報

富山市の平地積雪断面測定資料報告
1992—1993年冬*

石坂 雅昭
富山市科学文化センター

はじめに

1992年の12月から1993年の3月にかけての冬期間に行った積雪の断面観測の結果を報告する。測定は、毎月5のつく日、あるいはそれができない場合は、その近日を観測の日を原則としているが、今回は積雪のある日が少なかったため、雪のある日で筆者が観測できる日に行った。

測定結果

測定場所は、当館に隣接する城南公園の草地である。測定項目は、積雪の層構造、雪質、

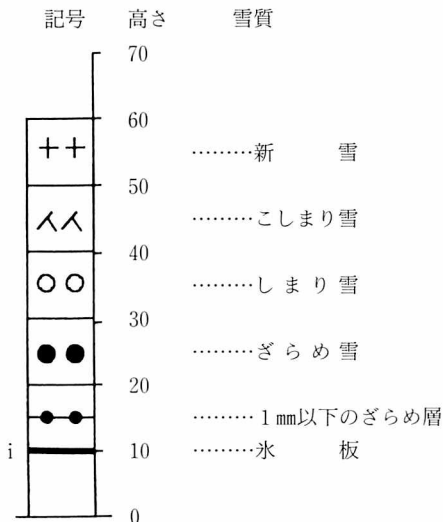
温度、密度、硬度、および積雪水量であるが、今回は積雪量が少なかったため、密度や硬度の測定が困難なことが多く、雪質と積雪水量、積雪全体としての平均密度にとどまった。

測定結果を表2に示した。表中の記号は、表1に示した通りである。また、「高さH」は地上高であり、密度G、硬度R、雪温TSが測定された位置を示す。ただし、密度の場合は、角形サンプラーで採雪された雪の上面の高さである。硬度の測定は、木下式硬度計を用いた。なお、図1は富山地方気象台で測定された日最高気温、日最低気温および積雪深を気象月報から読みとり、グラフにしたものである。

文 献

富山地方気象台編, 1992. 富山県気象月報, 12月号.
-----, 1993. -----, 1月号, 2月号, 3月号.

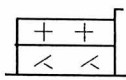
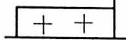
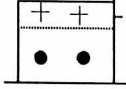
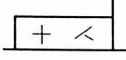
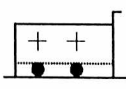
表1 記号の説明



積雪の粒度	
記号	粒 度
a	0.5mmより小さい
b	0.5mm~1.0mm
c	1.0mm~2.0mm
d	2.0mm~4.0mm
e	4.0mmより大きい

*富山市科学文化センター研究業績第158号

表 2 1992～1993年冬の積雪断面観測の結果

年月日 時刻 天気	成 層 圏			高 々 H cm	密 度 G $g \cdot cm^{-3}$	硬 度 R $g \cdot cm^{-2}$	雪 温 Ts °C	含 水 率 W %	全積雪水量 平均密度 気 温 そ の 他	Hw G Ta
	粒 度	雪 質	高 々 高さ							
1992 12-24			10 a 0	8			全層 0°C			
1993 1-19			10 a 0	4			全層 0°C			
1-21			20 10 a 0 c	12			全層 0°C		H = 2.9 g/cm ² G = 0.24 g/cm ³	
1-28			10 a 0	4			全層 0°C		H = 0.5 g/cm ² G = 0.13 g/cm ³	
2-2			10 a 0 c	8			全層 0°C		H = 1.4 g/cm ² G = 0.17 g/cm ³	

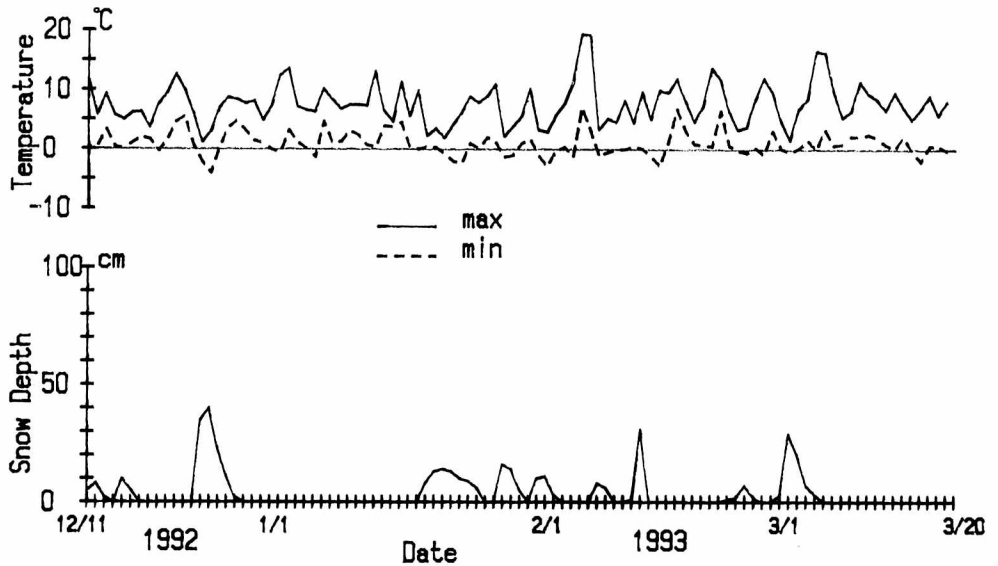


図 2 1991—92の気温と積雪深の推移 (富山地方気象台調べ)